

平成 25 年 死亡災害発生状況（確定）

No	署別	発生日	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
1	能代	1月	道路建設 工事業 (3-1-6)	20歳代 (1年～5年)	交通事故	乗用車	ワゴン車で事業場に戻る途中の国道7号線上で、凍結路面により運転していたワゴン車がスリップして対向車線に進入、タンクローリー車と衝突して、助手席とその後方に乗っていた二人が死亡した。
2				20歳代 (1年～5年)			
3	横手	1月	鉄骨・鉄筋 コンクリート造家屋建 築工事業 (3-2-1)	30歳代 (10年～ 20年)	崩壊	その他の 環境等	珪のコントリーエレベーター建築工事で、切妻屋根上（軒高6.3m）の足場を解体し、敷角下の敷板を外した後、屋根上の積雪が軒先方向に滑り出し、屋根上の作業員2名が巻き込まれ、軒先に面した足場上の作業員1名が雪に押し出されて墜落し、落雪に埋もれて窒息死した。（屋根上の作業員は、腰などを負傷した。）
4	大館	1月	木材伐出業 (6-2-1)	60歳代 (1年～5年)	激突され	立木等	杉立木（元口径：30cm、樹高：33m）を伐倒したところ、既に伐倒していた杉に当たった反動で元口が跳ね上がり、退避しなかった被災者に激突した。被災後、入院・加療していたが2カ月後に死亡した。
5	大曲	2月	木材伐出業 (6-2-1)	70歳代 (10年～ 20年)	はさまれ	立木等	民有林の皆伐作業において、被災者は傾斜地30度の斜面で朴の木（ホオノキ）を伐倒した後に、上方の檜の木を伐倒したところ、重なる状態になった。その状態で檜の木の元口側から梢側に枝払いを行っていたところ、檜の木が落下等し挟まれて死亡した。
6	大曲	3月	採石業 (2-2-1)	50歳代 (20年～ 30年)	転落	その他の 環境等	被災者は、窪地水中の調子が悪かった排水ポンプをブレーカーのピックで吊り上げるために、窪地の排雪路上をブレーカーで走行中、路肩が崩壊し、ブレーカーとともに窪地水中に転落し、溺れて死亡した。
7	秋田	3月	木材伐出業 (6-2-1)	50歳代 (20年～ 30年)	はさまれ	その他の 動力運搬機	間伐作業において、林内作業車を運転していた被災者が、運転席から頭部を出し、路肩状況等を確認しながら操作していたところ、立木と運転席に頭部を挟まれ死亡した。
8	横手	6月	その他の 卸売業 (8-1-9)	10歳代 (1年～5年)	交通事故	トラック	事業場へ配達を行うため、トンネル内（片側一車線、幅：約3m）をトラックで走行中、前方を走行していた大型トラックの後部に衝突し、脳挫傷により死亡した。
9	大曲	6月	電気通信 工事業 (3-3-1)	50歳代 (40年～ 50年)	墜落	はしご等	電柱に街灯を設置するため、脚立を伸ばした状態（約2.7m）で下部を電柱に固定して作業を行っていた被災者が、路上に倒れて意識のない状態で発見され、その後病院で死亡した。単独作業であり被災時の状況を確認した者はいないが、作業中に高所より墜落したものと推定される。安全帯及び安全帽は着用していた。
10	秋田	7月	一般貨物 自動車 運送業 (4-3-1)	40歳代 (20年～ 30年)	分類不能	分類不能	被災者はダンプトラック（以下「車両」という。）での骨材の配送業務を終え、車庫（屋外駐車場）にて自身が運転した車両の点検等（タイヤのナット増し締め）作業中、同僚が被災者のナット増し絞めの音が聞こえなくなったことを不審に思い、様子を見に行ったところ、被災者が車両右後部のタイヤ脇に倒れていた。被災者は搬送後、一時心肺停止状態を脱したが、同日深夜に死亡した。
11	本荘	7月	その他の土 木工事業 (3-1-99)	20歳代 (1年～5年)	転落	トラック	事業場の駐車場内において、軽トラックに雑草等の廃棄物を積み終え指定場所まで運搬するためエンジンをかけたところ、運転操作を誤り前進したまま駐車場の端部から2.8m下の田んぼに転落し死亡した。駐車場はほぼ平坦で、端部には車止めやガードレールは設置されていなかった。

No	署別	発生日	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
12	横手	7月	その他の食 料品製造業 (1-1-9)	40 歳代 (1年～5年)	高温物と の接触	高温環境	高圧殺菌釜より取り出した椎茸の菌床を放冷室に並べる等の作業中、熱中症（高圧殺菌釜を解放すると室温が推定45℃以上となる）により被災した。
13	本荘	7月	その他の 金属製品 製造業 (1-12-9)	50 歳代 (20年～ 30年)	交通事故	トラック	空輸された部品を空港へ取りに行くため、会社所有の軽トラックを運転し県道を走行していた被災者が、対向車線に進入しワゴン車と正面衝突した。
14	本 荘	11月	道路建設 工事業 (3-1-6)	60 歳代 (40～50年)	崩壊・ 倒壊	地山、岩石	山間部を通る市道の路肩及び法面（斜度約45度、直高約18メートル）を補強するための道路改良工事現場において、労働者8名が法面の最下部（法尻）付近で土止め用の構造物（布団かご）を設置する作業をしていたところ、路肩及び法面上部の地山が崩壊し、作業していた労働者8名のうち6名が土砂に巻き込まれ、5名が死亡した。
15				30 歳代 (10～20年)			
16				60 歳代 (30～40年)			
17				20 歳代 (1～5年)			
18				50 歳代 (10～20年)			
19	能代	11月	合板製造業 (1-4-2)	40 歳代 (20～30年)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機	夜間にボード製造工場内の監視等を行っていた被災者が、ボード生産ラインのアーム（金属パイプ製）と製品ボードとの間に胸を挟まれ宙吊りになっているのを発見され、さらに救出中に約1.5メートル下のコンクリート床に墜落した。被災者は生産ラインの不具合を発見し、一人で脚立に昇り、アームに詰まった製品を取除こうとしたものと推定される。
20	本荘	11月	橋梁建設 工事業 (3-1-5)	50 歳代 (30～40年)	激突され	建築物、 構築物	市道の橋梁新設工事に伴う既存橋梁の解体撤去作業において、解体の準備作業として橋桁の中央部分に切欠きを入れるため、被災者は移動式クレーンで吊られた搬器で河川中央付近まで移動し橋桁のガス溶断作業をしていたところ、橋桁が折れ、落下した橋桁に頭部を挟まれた。
21	秋田	12月	木造家屋 建築工事業 (3-2-2)	30 歳代 (1～5年)	交通事故	トラック	住宅建築工事現場に建築資材を運ぶため社有車（1トン平ボディトラック）で国道を運行中、対向してきた大型トラックと正面衝突した。
22	秋田	12月	鉄骨・鉄筋 コンクリ ート造家屋建 築工事業 (3-2-1)	50 歳代 (30～40年)	墜落	屋根、はり等	倉庫の増築工事現場において、高さ約7.8メートルの鉄骨梁の上で作業中、コンクリート床に墜落した。